

平成20年度

男女共同参画推進事業報告書

- 1 第3次会津若松市男女共同参画推進プランに基づく事業・・・P 1～P 14
- 2 会津若松市男女共同参画推進条例に基づく事業・・・P 15
- 3 その他の事業・・・P 15



会津若松市企画政策部企画調整課

■計画の体系

基本理念

《基本目標》

すべての市民が、性別にかかわらず一人の人間として尊重され、その個性や能力を十分に発揮することができ、あらゆる分野にともに参画し、支え合い、責任を担う社会を目指します。

I 男女平等のための意識づくり

《施策の方向性》

1 反発・誤解解消

2 子どもの基点化

3 男性のチャレンジ/家族再発見

4 女性のステップアップ

5 国際理解の推進

《重点事業》

- 1 パンフレット・情報紙等の作成
- 2 関係図書・ビデオの整備
- 3 出前講座の実施

- 4 混合名簿の推進
- 5 男女平等に関する作文募集
- 6 教育の場における男女平等教育の推進
- 7 子ども連に向けた共同プログラムの開発

- 8 家事・育児再評価事業
- 9 おもしろい・楽しい、家事育児事業
- 10 家族再発見事業
- 11 みんなで子育て事業
- 12 家族経営協定推進事業

- 13 女性の人材育成
- 14 女性の人材情報の整備
- 15 審議会等の女性登用促進

16 在住外国人との異文化交流事業

- 17 NPO活動支援事業
- 18 アイデア募集

- 19 事業主理解促進
- 20 優良企業表彰
- 21 労働に関するあらゆる情報の提供

- 22 活躍する女性を顕彰
- 23 女性の就業支援
- 24 農村女性の活動支援

25 男女共同参画推進活動のネットワーク化

- 26 男女共同参画推進員の設置
- 27 職員研修の実施
- 28 女性職員のエンパワーメントの促進
- 29 女性職員登用の促進
- 30 セクシュアル・ハラスメント防止事業

31 拠点となる機能の整備

- 32 市民意識調査・実態調査の実施
- 33 統計資料等の整備

- 34 刊行物の表現の見直し
- 35 女性への暴力の根絶
- 36 相談窓口の拡充
- 37 リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識の浸透

II 男女共同参画の社会環境づくり

6 市民民主化

7 女性の就労条件、不平等の解消

8 女性のチャレンジ支援

9 男女共同参画推進活動のネットワーク化

10 市役所が率先していく改革

11 拠点施設の整備

12 調査/情報収集と提供

III 人権が侵害されることのない社会づくり

13 権利擁護

進行管理「通知表」

5年間の計画の内容について、段階評価し公表していく

- 市民意識調査
- 事業の進捗状況についての調査
- 男女共同参画データブック作成

計画推進の視点

女性のエンパワーメントの拡大の視点

ジェンダーに敏感な視点

男女の人権尊重の視点

1 第3次会津若松市男女共同参画推進プランに基づく事業

実施区分/A：今後も引き続き実施する B：平成21年度新規事業 C：平成22年度以降に事業予定 D：引き続き検討 E：平成20年度事業完了

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女平等のための意識づくり	反発・誤解解消	1	パンフレット・情報紙等の作成	各種パンフレットの作成	プランの計画期間（平成16年度～平成20年度）の最終年度を迎えるにあたり、プラン策定市民会議及び職員によるワーキンググループにおいて協議を重ね、社会情勢の変化に的確に対応した施策展開になるよう、これまでの進捗状況について検証を加え改訂版を作成した。（21年3月） 条例パンフレット 第3次男女共同参画推進プラン改訂版 400冊 第3次男女共同参画推進プラン改訂版ダイジェスト版 3,000部	371	E		企画調整課
				各種パンフレットの活用	各種講座、研修会及び行政視察等において、パンフレットを活用し意識啓発を図った。 啓発パンフレット 「こころのガイドブック男女が“ともに生きる”社会をめざして」 男女共同参画推進条例及び推進プラン『チャレンジ2008』のダイジェスト版		A		
				情報紙の作成	ボランティアの編集委員を一般公募し、男女共同参画情報紙「ぱーとなー」を発行して、市民の意識啓発を図った。 編集委員 5名 全世帯配布（51,500部作成）	401	A		
				情報メールの配信	男女共同参画情報メールの配信 配信回数 16回		A		
	2	関係図書・ビデオの整備	「男女共同参画コーナー」の整備	男女共同参画関係図書を購入し、図書館内の男女共同参画コーナーの拡充を図った。 図書 16冊、DVD 1本（寄贈）	20	A		企画調整課	
				貸出用図書等として提供しポスター等を館内に掲示。		A		各公民館	
				男女共同参画コーナーへ関係図書の整備を行った。 購入冊数 10冊（※寄贈冊数 16冊）	8	A		会津図書館	
3	出前講座の実施	出前講座	生涯学習出前講座のメニューに「男女共同参画について考えよう」を設定。		A		生涯学習課 企画調整課		

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女平等のための意識づくり	反発・誤解解消	その他	男女共同参画基礎講座の実施	講座の開催	ひとの新しい生き方「きほんの基本」講座 講師：桜の聖母短期大学 准教授 二瓶由美子氏 受講者数：20名（のべ29名） 実施月日：7月12日(土)、26日(土)の2日間 内容：1 「男女共同参画について」 2 「ジェンダーについて」	50	A		企画調整課
				福島県男女共生センター行事への参加	「未来館フェスティバルシンボルイベント」への参加 男女共同参画の市民意識啓発のため、市民参加者を募り参加。 日時 9月6日(土) 13:00~16:00 参加者：4名 場所 福島県男女共生センター(二本松市) 内容 ・リーダーシップ111トーク 「みんなで語ろう21世紀の人生の歩き方」	3	A		企画調整課
	子どもの基点化	4	混合名簿の推進	男女混合名簿の重要性に理解を広め、男女混合名簿導入を推進する	混合名簿の全校導入に向け、未導入校に対し導入を推進している。 平成21年度には全小中学校導入予定		A	H19年現状値96.9% ⇒100%	学校教育課
				混合名簿の啓発	学校における男女平等教育の推進を図るため、男女混合名簿の重要性についての意識啓発を行った。		A		企画調整課
		5	男女平等に関する作文募集	男女平等に関する作文コンクールを実施し、優秀者を選定し表彰	対象：市内の小中学生 応募者数：計63名(小学生低学年の部 8名、小学生高学年の部 12名、中学生の部 43名) 賞：選考により優れた作品9点が入選(最優秀賞3点、優秀賞6点) ○表彰式：平成21年2月21日(土) 男女共同参画都市宣言記念行事にて表彰状を授与した。 また来場者に「作文コンクール作品集」を配付、受賞者の代表が作文朗読をして啓発を図った。 ○市内各小中学校に「男女平等に関する作文コンクール小中学生入選作品集」を配布し、男女平等についての意識高揚を図った。	54	A		企画調整課
				男女平等に関する作文コンクールの周知	校長会、教頭会議において、積極的な応募について協力を依頼した。		A		学校教育課
	6	教育の場における男女平等教育の推進	出前講座の実施	「子ども人生講座」を実施。(企画調整課) 実施にあたり学校現場とのコーディネイトに努めた。(学校教育課) 対象：小学校5、6年生 [内容] コース1：「男女平等について考える」 実施校11/19校(40回) 講師：外部講師 H20年度末までに19校中16校で実施済	200	A	H19年現状値14/19校 ⇒小中学校全校	学校教育課 企画調整課	
	7	子ども達に向けた共同プログラムの開発	男女共同参画に関連する指導資料を作成し、授業実践を図る	性教育の指導の充実を図るため、引き続き、「性教育実践事例集4」を作成した。 (平成21年度Web上掲載予定。)		A		学校教育課	

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施 区分	目標 (期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	3 男性のチャレンジ／家族再発見	9	おもしろい・楽しい、家事育児事業	講座の開催	<p>〔男の居場所づくり教室〕 団塊世代を中心に（50歳以上の男性）、家庭でもなく、職場でもない場所に「男の居場所」を見つけ、つくろうという講座として開設。 受講者数：15名（のべ89名） 実施回数8回（5/25～12/14） 内容：環境や健康について考え、地域とのかかわりや実生活に役立つ講座を開設。自然探勝、農業体験、夏・冬の料理講習など</p>	150	A		中央公民館
					<p>〔チャレンジキッズ（少年教室）〕 受講生が男女の性による差別をしないで生活できる「料理教室」を行い、その講座の中で自然に男女共同を体験する1こまを設けて学習した。 受講者数：22名 実施回数：1回</p>	7	A		南公民館
					<p>〔オヤジの放課後〕 永らく第一線で活躍してきた世代の方々に活動を通じてこれからの過ごし方の参考になるような講座を開催 受講者数：18名（のべ37名） 実施回数：3回 内容：そば打ち、ビール作り、健康づくり</p>	45	A		東公民館
					<p>〔おとなのわんぱく教室〕 野外活動や自然に親しみながら幅広い年代の交流を図った。 受講者数：27名（のべ32名） 実施回数：3回 内容：ダッチオープンを使った料理作り</p>	33	E		東公民館
					<p>〔ここが私の出番〕 主に料理教室を通じて日常生活に役立つ知識や技術を習得しながらそれぞれの立場で担うべき家庭内での役割について考えた。 受講者数：12名（のべ35名） 実施回数：5回 内容：てんぷら料理、手づくりソーセージ、イタリア料理、そば打ち等</p>	35	A		北会津 公民館
					<p>〔おやじ倶楽部～われら熱中人～〕 団塊の世代を中心とした男性のための倶楽部を設立し、自立できる男の生活術を学ぶ。 受講者数：18名（のべ121名） 実施回数：8回 内容：日曜大工、アウトドアクッキング、おふくろの味に挑戦、そば打ち、キムチづくり、魚のおろし方、手巻き寿司</p>	38	A		河東公民館

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	3 男性のチャレンジ／家族再発見	9	おもしろい・楽しい、家事育児事業	講座の開催	<p>〔げんき塾（少年教室）〕 学校では体験できないさまざまな学習課題や体験を通じて自ら学ぶ姿勢・判断力を養う。こども達どうしの異年齢の友達づくりの役立てることを目的として実施。 受講者数：14名（のべ52名） 実施回数：全10回のうち2回 内容：中国の水餃子づくり、キャンプ等</p>	121	A		一箕公民館
					<p>〔「わくわく夢塾」～人生は山登山のごとし～〕 成人講座として団塊の世代の方々を含め、明るく豊かな人生をおくるための講座全12回のうち講演会を1回開催。 受講者数：47名 内容：登山家の体験を人生に照らし合わせた講演。</p>		A		河東公民館
					<p>〔大戸の茶の間〕 地域の方々がいいつでも集い、楽しみながらさまざま学習ができるような場の提供を行った。</p>		D		大戸公民館
		10	家族再発見事業	講座の開催	<p>〔高齢者講座「あいづわくわく学園」〕 高齢者自らが意欲的に仲間づくりの輪を広げ、健康と生きがいの目標を見出し、高齢社会におけるリーダーとして活躍できる人材を育てる。 ○人に好かれる話し方、聞き方（1回） 受講者数：36名 実施月日：5月27日 ○会津の食文化（講義・実習）（2回） 受講者数：のべ70名 実施月日：1月27日、2月10日</p>	21	A		高齢福祉課
					<p>〔家族でチャレンジ！〕 家族生活を営む方法として、単純な性別役割分担の発想に固執することなく、家族の各々が持っている条件や個性、得意なことなどを考慮したユニークな家族の役割分担の発見を目指す。 受講者数：34組82名（のべ377名） 実施回数：7回（6/14～12/13） 内容：親子による万華鏡づくり、うどん・そば打ちなど共同作業体験活動を実施。</p>	12	A		中央公民館
					<p>〔親子ふれあい広場〕 親が、豊かな心とたくましい身体を育て、子どもの成長に必要な親子のふれあいと参加者同士の交流を深めながら、さらにそこから生まれる輪が社会参加の第一歩となり、子育てが楽しくなることをねらいとする。 受講者数：27名（のべ194名） 実施回数：11回</p>	109	A		北公民館

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
男女平等のための意識づくり	男性のチャレンジ／家族再発見	10	家族再発見事業	講座の開催	〔ファミリー教室〕 親と子が一緒になってそば打ちやケーキづくりに挑戦し、親と子のふれあいを通して家族の新鮮な魅力を再発見するとともに心豊かな家庭愛を育む。 受講者数：17名（のべ57名） 実施回数：4回		A		湊公民館
					〔わらべ塾・warabeマイスターズクラブ〕少年教室 子ども達が、自然体験を通して様々な知識を得るための講座を開催。その講座には、子どもの保護者、地元のサークル、地域の人々等が協働し実施している。 受講者数：のべ255名 実施回数：13回	486	A		大戸公民館
					〔親子そばうち教室〕 世代間交流を目的とし、子どもからお年寄りまで参加できるような講座を開催 受講者数：14名 実施回数：1回	11	A		大戸公民館
		11	みんなで子育て事業	3歳児神話の影響を示し、誤解を解くためのパンフレット作成・配布	○3歳児神話について直接触れることは少ないが、乳幼児健診において、夫の協力について把握し、支援している。 ○子育てわいわいトークを開催し、今の子育ての現状や悩み等を住民の方と話し合いを行った。		A		健康増進課
				リーフレットの作成・配布	児童虐待防止のため、乳児検診時等に健康増進課を通じて配布し啓発を図った。		A		児童家庭課 健康増進課
				居場所事業	〔南チャレンジ・キッズ〕 生涯学習課による「居場所事業」として地域の老人会、ボランティア、子供会、体育連盟、区長会などの方々と共同で地域の子供に対する健全育成事業を行った。		A		南公民館 生涯学習課
		12	家族経営協定推進事業	家族経営協定の推進	農業者の農業経営改善計画申請時に「家族経営協定」について周知を図った。 協定締結件数：39件		A	H19年現状値34件 ⇒73件	農政課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	女性のステップアップ	13	女性の人材育成	「女性のステップアップ講座」の開催	目的：女性が、あらゆる場における意思決定過程に参画するために、女性のエンパワーメントを図る。 受講者数：28名 延べ61名 内容：全3回 11/6、11/13 コミュニケーションアズ・コミュニケーション 代表 前田文氏 11/27 男女共同参画 市男女共同参画審議会委員 佐川成美氏	63	A		企画調整課
				女性の人材育成	〔アクション レディース〕 社会情勢の変化に対応し、学習・実践活動を通し、女性の生き方を学び、相互研修により生活能力の幅を広げる。平成20年度は「社会保障と私たちの暮らし」を重点テーマとして学習した。 講座回数：10回 受講者数：のべ86名	55	A		北公民館
					一箕公民館主催の転入されて間もない女性を対象とした転入者講座で「男女共同参画の視点から見た市政概要」を講義 主催 実施月日：5月27日(火) 受講者数：6名(女性 6名) 実施回数：1回		A		企画調整課 一箕公民館
		14	女性の人材情報の整備	人材リストの作成	人材リストの活用し、女性登用を図る。 登録者10名 〔活用状況〕 男女共同参画審議会委員 2名、社会教育指導員 1名 中央公民館事業懇談会 1名、行政機構審議会 2名 行政システム改革懇談会 2名、景観審議会委員1名 〔モニタリング指標〕 PTA会長における女性の割合：20.3% (13人/64人) H20.10.1現在 町内会等の代表における女性の割合：1.8% (9人/504人) H20. 4.1現在		A		企画調整課
		15	審議会等の女性登用促進	審議会等の女性委員の登用	市の政策形成過程である審議会等の委員を選定する際、「附属機関の運営及び委員構成に係る基準」の遵守を徹底するよう各所属に対し働きかけを行った。 審議会等における女性委員の割合：H20. 4. 1現在 19.4% H21. 4. 1現在20.5% (各行政委員会・広域除く)		A	女性委員の割合 H19年現状値 19.8% ⇒30% (H28)	人事課
					国、県の調査と同じく行政委員会の委員を含めた中での割合は H19. 4. 1現在18.3%、H20. 4. 1現在18.6%、H21. 4. 1現在19.1%これを年度末まで20%を目指し、人事課とともに推進委員研修会等で今後も働きかける 例えば 会津若松市男女共同参画推進条例の中で会津若松市男女共同参画審議会の組織を「審議会は、委員10人以内で組織し、男女同数となることを原則とする」と規定。		A	女性委員 (行政委員会含む)割合 H19年現状値 18.3% ⇒30% (H28)	企画調整課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施 区分	目標 (期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	女性のステップアップ	15	審議会等の女性登用促進	審議会等の女性委員の登用	平成20年度においては、「会津若松市住居表示整備審議会」委員構成を12名で組織し、行政機関、公共機関等を除き男女の比が同数となることを目標とし、一般公募2名中1名を、各種団体3名中2名について女性を登用した。全体で12名中3名女性委員（25%）	360	A		市民課
					障害者自立支援法第15条に基づき会津若松市障害者等の介護給付費等の支給に関する審査会を設置。選考委員10名のうち女性委員4名	1638	A		社会福祉課
					「国民健康保険運営協議会」委員において女性委員の割合を増やしていく。	190	A		国保年金課
					平成20年8月30日まで任期の観光審議会委員10名のうち2名女性の登用してきた。現在は不在の状態にあるが、今後についても女性委員の登用は基本と捉えている。		A		観光課
					公設地方卸売市場運営協議会において、委員13名のうち、消費者代表委員2名中2名を女性委員で構成した。	98	A		公設地方卸売市場
					「会津若松市都市計画審議会」「会津若松市景観審議会」委員の委嘱の際、市内女性団体への推薦依頼を積極的に行っている。また、市民から公募した委員の抽選時には、要項を定めることによって女性の登用が多くなるよう努めている。		A		都市計画課
					会津若松市下水道等運営審議会条例第3条に基づき設置。10名の委員の委嘱の際女性委員の人数が30%を超えるように努めている ※平成20年度は審議会の開催なし。		A		下水道課
					会津若松市市営住宅入居者選考委員会を会津若松市市営住宅条例第10条に基づき設置。選考委員5名 ※平成20年度は住宅困窮の度合いの判定基準について意見を聴いてから実施する入居者募集がなかったため委員会の召集がなく、委員も任命しなかった。		A		建築課
					「会津若松市社会教育の会議」委員の委嘱にあたり、市民の女性団体からの推薦を含め、女性委員の登用に努めている。10名中3名が女性委員。平成21年度の改選時にも女性委員の登用に努めていく。		A		生涯学習課
					「会津若松市水道事業経営審議会」委員の委嘱にあたり、市内の女性団体への推薦依頼を積極的に行い、女性委員の登用につとめている。		A		水道部 総務課

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
I 男女平等のための意識づくり	5 国際理解の推進	16	在住外国人との異文化交流事業	講座の開催	〔ハンゲル講座〕 ハンゲル基礎講座を通して韓国と日本の文化事業、特に料理や国民意識についても学ぶ。 参加人数：19名、(のべ人数121名)実施回数：18回 内容：初級者向けにハンゲル文字、文法、日常会話を学習。	62	A		河東公民館
					〔おいしく食育料理教室〕 在住外国人と市民のふれあいの場を設け、様々な生活習慣への理解を深める。 参加人数：26名、実施回数：1回 内容：バングラディッシュの食文化。	30	A		大戸公民館
					〔こめら・あそび塾〕 小学4～6年生を対象に、外国人講師と一緒に外国のおやつを作った。また外国の正月の話をお聞きした。 受講者数：12名 講座回数：全8回のうち1回(12月20日)	7	A		東公民館
					〔原語で歌う世界の唄〕 世界の唄を原語で歌うことにより、歌詞の意味を知り、曲が作られた時代的背景や歴史を学ぶとともに、国際理解を深め交流を図る。 参加人数：のべ238名、実施回数：14回 内容：シャンソン。	139	A		北公民館
				福島県男女共生センター行事への参加	「未来館国際シンポジウムへ」の参加 国際的視点での男女共同参画理解促進のため、市民参加者を募り参加。 日時 3月14日(土) 参加者17名 場所 福島県男女共生センター(二本松市) 内容 オマーン・スルタン国、コロンビア共和国、ニュージーランド大使等による男女共同参画社会づくりについてのシンポジウム。	4	A		企画調整課
		会津若松市国際交流協会における異文化交流事業	会津若松市国際交流協会に負担金を支出し、国際交流フェスティバルやワールドツアー(文化紹介講座)などの事業を実施し、市民と在住外国人が交流し、互いの文化や価値観の違いを学ぶ場を設けた。 ○国際交流フェスティバル 10/5(日) 場所：アピオスペース、 来場者：約3,000人 ○ワールドツアー(文化紹介講座) 4/20(日) エコロなお花見(120名) 7/5(土) アメリカの教育に学ぼう(17名) 8/31(日) ドイツの私、日本の私(14名) 11/3(月) 中国の文化紹介・グループトーク(17名) 2/22(日) ビバ ブラジル! 熱帯の国(10名) 3/10・15・18・28スポーツ編(のべ37名)		A		企画調整課		

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	6 市民主役化	17	NPO活動支援事業	男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金の交付	研修・啓発活動開催事業のみ ○男女共同参画推進活動支援補助金 ➤研修・啓発活動開催事業⇒3団体、計465,300円 ①第2回男女共同参画イベント/5月17日(土)、約1100名参加、(文化センター・加賀美幸子氏講演会、ちよいワルおやじ?のファッションショーなど) ②ワーク・ライフ・バランス推進事業「聞き上手は話上手、家庭でコミュニケーション能力アップ研修 2/7, 2/28, 2/28 44名参加 ③視察研修(矢祭町もったいない図書館、埴町コミュニティプラザ) 27名参加	466	A		企画調整課
		18	アイデア募集	市民のアイデアを募集	男女共同参画を推進するためのアイデアを募集した。		A		企画調整課
	7 女性の就労条件、不平等の解消	19	事業主理解促進	事業主に対して、「男女共同参画推進状況報告書」の提出を依頼	市ホームページ(入札契約情報ページ)に男女共同参画事業についての説明を掲載するとともに、市の登録業者に対して入札参加資格審査(新規・更新)の際に「男女共同参画推進状況報告書」の提出を依頼し、男女共同参画に対する理解を求めた。		A		契約検査課 企画調整課
					事業主への意識啓発を図る	県のパンフレットをダイレクトメールで企業431社に送付し啓発を図った。		A	
		20	優良企業表彰	男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる企業等を表彰	「男女共同参画推進状況報告書」提出事業者の内、市内に事業所がある企業の中から、優良企業の選考を実施。 応募数を増やすためにダイレクトメールで企業431社に送付し2社から応募があった。 対象事業数 178件(提出事業者のべ1,386件のうち市内に事業所がある件数)の中から、「男女共同参画審議会」の中で厳正な書類審査を行い、H20年度は(株)シンク、(株)南会西部建設コーポレーションの2社を表彰した。	33	A		企画調整課
	21	労働に関するあらゆる情報の提供	関連ポスター・パンフレット等の掲示及び事業者への配布	福島労働局、21世紀職業財団、福島県男女共生センターとの連携により、当該団体が作成した各種関連ポスター・パンフレットで情報提供を実施した。 ・パンフレット等の主な設置場所 契約検査課、各公民館、商工課内、会津若松商工会議所、中小企業勤労者福祉サービスセンター		A		商工課	

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
II 男女共同参画の社会環境づくり	女性のチャレンジ支援	22	活躍する女性を顕彰	情報の収集	様々な分野において活躍している女性の情報収集に務めた。		A		企画調整課
		23	女性の就業支援	講習会、相談会等の開催	関連団体との連携により、講習会や相談会の開催を実施した。 〔就職希望の女性のための資格取得パソコン講座〕 女性対象 主催：県男女共生センター／共催：会津若松市 受講者数：各コース12名 授業日数：1/14～2/5のべ15日間 講習内容：資格取得準備コース（3日間）、表計算3級試験対策（12日間） 〔女性のための就職・再就職準備セミナー〕 主催：／県男女共生センター共催：会津若松市 受講者数：のべ52名 授業日数：5日間 講習内容：子育て中の女性等を中心に就職・再就職の準備段階における必要な基礎知識を身につける。		A		商工課 企画調整課
					女性就業相談コーナーの活用 市への求職問い合わせ者に対し、県男女共生センターの女性就業援助相談員が常駐する、会津地方振興局「女性就業相談コーナー」を紹介し、女性の求職活動を支援した。		A		商工課
					会津若松市育児・介護休業者生活資金利子補給制度 福島県育児・介護休業者生活資金利子補給制度の利用者に対し利子を補給し、休業期間中の経済的負担軽減と生活の安定を図る。 (H20は資金借入者無し)		A		商工課
		情報の提供	「女性のチャレンジ支援」「仕事と家庭の両立支援普及促進セミナー」等、国、県等からの情報を周知した。		A		企画調整課		
	24	農村女性の活動支援	女性農業者の育成・活動支援	健康で明るく潤いのある農村社会・農村生活を目指す女性農業者団体の活動への指導、助言等を行い、女性農業者の育成を図った。		A		農政課	
	ク進9 化活 動男 の女 ネ共 ット ト参 ワ画 ー推	25	男女共同参画推進活動のネットワーク化	ネットワーク加入者の募集	ネットワーク加入者：市民団体20・企業1・個人2		A		企画調整課
				情報の提供	市及び国、他自治体、他団体が開催する男女共同参画関連事業について情報の提供を行った。 (ネットワークニュースのメール配信等)		A		
				会議の開催	推進活動ネットワーク加入団体会議を開催し、情報の共有及び団体間のコミュニケーションを図った。 会議開催数：7回（4/15～3/19）		A		

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課	
II 男女共同参画の社会環境づくり	10 市役所が率先していく改革	26	男女共同参画推進員の設置	男女共同参画推進員の設置	庁内の男女共同参画を推進するため、各所属に副主幹または副主幹相当職より1名配置し、主体となって男女共同参画を推進した。(全62名)	25	A		企画調整課 全庁	
				研修会の開催	研修会の開催 実施月日：5月27日 出席人数：37名 テーマ「ジェンダーに敏感な視点 多様性を尊重する社会」 講師：福島県男女共生センター 岡部 貴敏氏	5	A			
				情報の発信	国、県の情報及び福島県男女共生センター広報誌「未来館NEWS」等を各所属へ配布し、職員への通知を図った。		A			
				各職場における意識啓発	○グループ内打ち合わせの場において、職場内における男女共同参画の必要性等について話し合い、職員の意識向上が図られた。 ○パンフレット、情報紙等の職員回覧を行い、意識の啓発を図った。 ○男女共同参画推進のためのアンケート調査のとりまとめ及びワークショップを行い職員の意識向上を図った。		A			
		27	職員研修の実施	男女共同参画に関する職員研修の実施	平成20年度新規採用職員を対象とする「新採用職員後期研修」において男女共同参画をテーマとする研修を実施した。 受講者：平成20年度新規採用職員20名 講師：企画調整課 男女共同参画推進グループ職員 時間：80分		A		人事課 企画調整課 関係各課	
				女性職員のエンパワメントの促進	職員研修等において女性職員の参加促進を図る 平成20年度女性職員受講率(全研修受講者に対する女性の割合)：35.1%		A	女性職員の研修会等参加率 H19年現状値32.5%⇒40%		
		28	女性職員のエンパワメントの促進	女性職員のためのエンパワメント研修を実施	〔女性のためのエンパワメント研修〕 女性職員のみを対象とし公募により「協動的交渉術」をテーマにした研修会を開催した。 受講者：女性職員 32名 講師：(有)教育総合規格 代表取締役社長 野沢聡子氏 日程：5.5時間の1日研修を2回開催 7/8・7/9		186	A		
				女性職員登用の促進	積極的改善措置の一環として、女性登用を促進するとともに、さらに職域拡大に努めた。 副主幹以上職員の中での女性職員 (H20.4.1) 40名/312名=12.8% (H21.4.1) 36名/303名=11.9% 《参考》 市職員全体の中での女性職員 (H20.4.1) 32.0% (H21.4.1) 31.5% 新規採用市職員の中での女性職員 (H20.4.1) 55.0% (H21.4.1) 35.7%		A	H19年現状値11.9%	人事課	
		30	セクシュアル・ハラスメント防止事業	セクシュアル・ハラスメント防止のための情報提供をする。	セクシュアル・ハラスメント防止のために情報誌「ストップ・セクハラ」を発行し、セクハラに関する情報の提供や苦情相談窓口の周知を行った。 平成16～20年度 ○「ストップセクハラ」年1回発行(H20年度12/11発行) ○セクハラ苦情相談件数 1件			A		人事課
				セクシュアル・ハラスメントの実態調査	「男女共同参画推進のためのアンケート」を職員対象に行った。			A		

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
境Ⅱ づくり 男女共同参画の社会環	整点1 備施1 設の拠 の拠 取1 集2 と 提調 供査 ／ 情 報	31	拠点となる機能の整備	情報の収集	拠点となる施設等の検討及び情報収集を行った。		A		企画調整課 関係各課
		32	市民意識調査・実態調査の実施	市民意識調査・実態調査の実施	男女共同参画に関する意識調査・実態調査を実施する。		B		企画調整課 関係各課
				統計資料等の整備	男女共同参画データブックの更新	随時、情報収集を行い、男女共同参画データの更新を行った。		A	
Ⅲ 人権が侵害されることのない社会づくり	1 3 権利擁護	34	刊行物の表現の見直し	広報紙やパンフレットの表現の見直し	市で発行する広報紙等について「県政広報物表現ガイドライン」に沿った表現とするよう推進員研修会の時に周知した。		A		企画調整課
				情報提供	市のホームページから福島県ホームページの「県政広報物表現ガイドライン」へリンクを設定し、誰もが容易に確認できるように努めた。		A		
				市政だよりの編集において、固定的な性別役割分担意識に基づく表現の掲載を行わない	固定的な性別役割分担意識を助長するような表現を使用しないように、「県政広報物表現ガイドライン」に沿った表現を用いて市政だよりの編集を行っている。		A		秘書広聴課
		35	女性への暴力の根絶	DV防止キャンペーンの開催	国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中にDV防止キャンペーンを開催し、特別相談窓口を設置し、女性からの相談を受け付けた。市政だよりにDVに関する記事を掲載した。 〔内容〕 ○女性への暴力の根絶「DV防止キャンペーン」講演会及び相談会 講演会：11月22日（土） 13：30～15：30 参加者：24名 仙台女性の暴力防止センター・ハーティ仙台 門馬尚子氏講師 相談会：11月22日（火） 18：00～20：00 相談者：1件 松本幹子 女性相談員対応	35	A		児童家庭課 企画調整課
				○会津若松市の相談周知カードを作成し、大手スーパーや公共施設の女子トイレに設置依頼し、啓発に努めた。 カード 約5,000枚	7	A			
			広報	ポスター等で啓発を行っている。		A		企画調整課	

基本目標	施策の方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額(千円)	実施区分	目標(期待)値	担当課
III 人権が侵害されることのない社会づくり	1 3 権利擁護	36	相談窓口の拡充	一般相談	日常生活での悩みや行政への問い合わせ等の相談を職員が受け付ける。相談内容によって無料法律相談等専門的な相談機関の紹介や関係各課・各相談機関相互と連携を図り対応した。		A		環境生活課
					○DVへの適切な対応 児童家庭課や関係機関との連携を図り、国民健康保険の資格について、迅速かつ的確に対応した。		A		国保年金課 関係各課
				専門相談	○消費生活相談 専門の相談員による消費生活相談室を設置し実施 消費生活にかかわる相談としているが、家庭内の暴力、金銭トラブル等の相談も多く、家庭相談員・女性相談員と連携を図って対応した。 相談員 2名	4,297	A		環境生活課
					○無料法律相談 県弁護士会会津若松支部に委託し実施 年12回	620	A		
					○特設人権相談 若松人権擁護委員協議会の協力により実施 年7回		A		
					○行政相談 総務省委嘱行政相談員の協力により実施 年7回		A		
					○登記・宅地建物相談 司法書士会・土地家屋調査士会・宅地建物取引業協会の協力で実施した。 (登記相談 年12回、宅地建物相談 年6回)		A		
					○公証相談 公証人の協力により実施 年12回		A		
					○行政書士相談 行政書士会の協力により実施 年5回		A		
					○女性福祉相談室の設置 女性福祉相談室に専門の女性相談員を配置し、相談業務を実施した。また、市政だよりに女性福祉相談室の概要を掲載し、広く市民への周知を図るとともに、児童家庭課窓口にて女性相談窓口のパンフレットを置き、広報を図った。	2,160	A		
○男女共同参画苦情処理委員会 会津若松市男女共同参画推進条例に基づく附属機関として設置 苦情処理委員 3名 ※苦情処理委員会開催回数：1回(委嘱状交付、研修) 苦情処理件数：0件	23	A		企画調整課					

基本 目標	施策の 方向性	No.	重点事業	具体的な事業	事業概要	決算額 (千円)	実施 区分	目標 (期待)値	担当課
Ⅲ 人 権 が 侵 害 さ れ る こ と の な い	1 3 権 利 擁 護	37	リプロダクティ ブ・ヘルス／ラ イツに関する意 識の浸透	講座の開催	「子ども人生講座」の「生きるための性教育」を実施。(企画調整課、健康増進課) 実施にあたり学校現場とのコーディネートに努めた。(学校教育課)		A		健康増進課 企画調整課 学校教育課
					対象：小学校5.6年生 講師：市保健師 実施校4/19校(12回) H20年度まで19校中18校実施済 320名				健康増進課
					思春期保健学習会の実施 依頼があった団体等(P T A)に性教育に関する学集会を実施 受講者数：のべ47名 実施回数 2回 8/29, 9/3		A		健康増進課

2 会津若松市男女共同参画推進条例に基づく事業

機関名	内 容	決算額 (千円)
会津若松市男女共同参画審議会	委員：10名（男女同数／学識経験者6名・一般公募4名） 委員改選あり（新委員の任期 平成20年10月17日～平成22年10月16日） 審議会開催：4回 報告事項：平成19年度男女共同参画推進事業について報告 男女共同参画推進プランの改訂経過について報告 審議事項：「男女平等に関する作文及び優良企業表彰に関する審査」などについて審議 諮問事項：男女共同参画推進プラン改訂版に関する諮問	218
会津若松市男女共同参画苦情処理委員会	委員：3名（弁護士1名・有識者2名） 苦情処理委員会開催：1回（委嘱状交付・研修会） 苦情申出件数：0件	22

3 その他の事業

事業名	内 容	決算額 (千円)	実施区分
会津若松市男女共同参画週間事業	〔福島県男女共生のつどい〕 男女共同参画週間に合わせて開催される標記行事に、市民の男女共同参画理解促進のため市民参加者を募り参加。 日時：平成20年6月28日（土） 場所：郡山ユラックス熱海 参加者：26名 / 内容：男女共同参画をテーマとした朗読、フリートーク等	3	A
	〔男女共同参画週間の周知〕 国作成のポスター、チラシなどを各公民館等に掲示して啓発を図った。		A
男女共同参画都市宣言記念行事	日時：平成21年2月21日（土） 場所：文化センター 参加者：420名 内容 ・男女平等に関する作文コンクール及び男女共同参画推進事業者表彰式 ・講演会等 第1部 映画上映 愛川欽也監督作品「いつも二人」 第2部 トークショー 愛川欽也さん&下村満子さん	375	A